

中学校 外国語科

1. 外国語科における学習評価の基本的な考え方

外国語科では、中学校学習指導要領において、「五つの領域（＝「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと）」ごとに言語「英語」の目標が示されていますが、各学年での目標は示されていません。そこで、各学校では、中学校学習指導要領の「3 指導計画の作成及び内容の取り扱い」や、各校で使用する教科書などを活用し、「学年ごとの目標」を設定する必要があります。

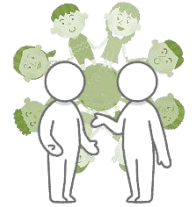
「学年ごとの目標」に基づいた、「単元ごとの評価規準」を作成することが外国語科における学習評価の基本的な考え方です。なお、単元の計画を作成する際は、学習指導要領に示された「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」の内容、「学びに向かう力・人間性等」の目標をふまえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を設定した上で、学習を通してつきたい力を明確にすることに留意する必要があります。

例 読んだことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う 第3学年 1学期 話すこと〔やり取り〕

「評価の計画」を立てる際には、単元ごとにその評価規準を作成する方法もありますが、学期など長いスパンでの見通しを持った計画を立てる方法もあります。

目標設定（1 学期）

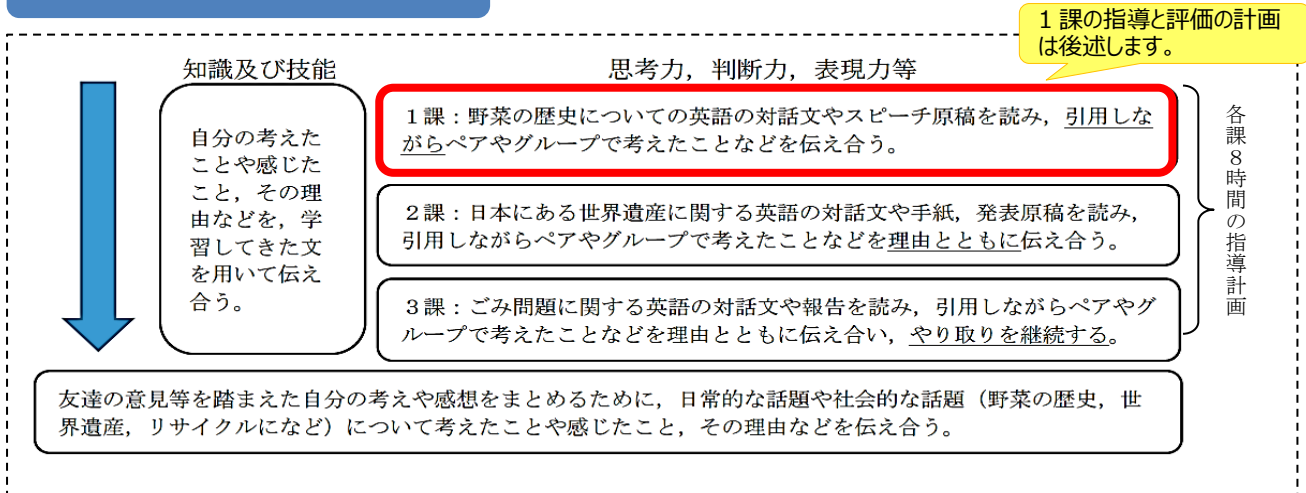
日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。



評価規準の設定（1 学期）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 受け身や現在完了形などの特徴やきまりを<u>理解している</u>。</p> <p>[技能] 日常的な話題や社会的な話題（野菜の歴史、世界遺産、リサイクルなど）について考えたことや感じたこと、その理由などを、受け身や現在完了などを用いて伝え合う技能を<u>身につけている</u>。</p>	<p>友だちの意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、社会的な話題（野菜の歴史、世界遺産、リサイクルなど）に関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどして<u>伝え合っている</u>。</p> <p>「思考・判断・表現」では、「…している」という文末表現</p>	<p>友だちの意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、社会的な話題（野菜の歴史、世界遺産、リサイクルなど）に関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどして<u>伝え合おうとしている</u>。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」では、「…しようとしている」という文末表現</p>

指導と評価の計画（全 24 時間）



【事例】第1課に係る「指導と評価の計画」 ※参考資料より改編（○記録に残す評価 ●生徒の学習改善につながる評価）

時	ねらい（■） 言語活動等（丸数字）	知	思	態	備考
1・2	■教科書の対話文を読み、引用するなどをしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。 ① 教科書の対話文を読み、引用するなどをしながら考えたことや感じたことを伝え合う。 ② 対話文で使われている未知の語の意味や新出文法について理解する。 * 1、2時間目は、受け身 ③ 教科書等の文章から英文を引用するために必要な英語での表現を学ぶ。 (Student A says, "...", According to Student A, ...) ④ 再度、対話文の内容に関して、引用をしながら考えたことや感じたことなどを別のペアで伝え合う。 ⑤ ペアで話した内容を踏まえて自分の考え等を書く。				観点の評価を行う場合には、学期や単元での指導計画を作成する段階で、 評価規準を達成している具体的な生徒の姿（＝「おおむね満足できる姿(B)」） と、「努力を要する」状況(C)への手だてをどうするかを考慮しておくことが大切です。
3・4	■教科書の対話文を読み、引用するなどをしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。 ① 教科書の対話文を読み、引用するなどをしながら考えたことや感じたことを伝え合う。 ② 対話文で使われている未知の語の意味や新出文法について理解する。 * 3時間目は、現在完了形（肯定文）を、4時間目は、現在完了形（完了用法・肯定文） ③ 前時までに学んだ引用方法を確認し、それを意識しながら考えたことや感じたことなどを別のペアで伝え合う。 ④ ペアで話した内容を踏まえて自分の考え等を書く。	●			
5・6	■教科書の対話文やクラスメイトの書いた英文を読み、引用するなどをしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。 ① 教科書の対話文やクラスメイトの書いた英文を読み、引用するなどをしながら考えたことや感じたことを伝え合う。 ② 対話文で使われている未知の語の意味や新出文法について理解する。 * 5時間目は、現在完了形（完了用法・否定文）を、6時間目は、現在完了形（完了用法・肯定文） * ②以降は、第3・4時の③、④と同じ	●			
7	■ピクチャー・カードを使い、受け身や現在完了形などを正しく用いながら、教師やALTに教科書本文の内容について英語で説明する。 ① ペアになり、クラスメイトや教科書本文の内容についてピクチャー・カードを使いながら説明する。 ② 個別に教師やALTに教科書本文内容を説明する。	○			※生徒が言語活動に取り組んでいる最中に教師は「知識・技能」に係る行動観察をする。
8	■初見の英語での文章を読み、考えたことや感じたことを、本文から引用しながら理由とともに伝え合う。 ① スピーチ原稿を読み、考えなどをペアで伝え合う。 ② ペアで話した内容を英語で書く。	○	○	○	※本時の評価に加え、後日 パフォーマンステスト を実施する。

本単元の最後の授業における言語活動や、後日実施するパフォーマンステストから逆向き設計で単元計画を作成

【評価規準作成のポイント】★評価規準を達成している具体的な生徒の姿から作成すること

【例】パフォーマンステストは、「話すこと [やり取り]」を見取るために、以下の課題を設定

「AIの進歩と私たちの生活」というテーマについて、友だちの意見等を踏まえた自分の意見や感想を伝え合うことになりました。そこで、下の記事(Article about AI)の内容に基づいてペアでやり取りをしてください。読む時間は3分です。
 (Article about AI)
 People have created a lot of things throughout history.
 These days, AI robots are used in some areas of our daily lives. AI products have changed our lives and will change ones in the future, too. It is easy for us to get better lives with AI. There are already some AI products around us, and new one will be made. For example, an AI fridge will be made in the near future. The fridge will tell us what to cook with the food in it.
 AI will change our lives so much in the future.

生徒のやり取りの中で「思考・判断・表現」を以下の条件で見取る。

《条件1》

読んだ英文を引用するなどしている。

《条件2》

自分の考えたこと、感じたこととその理由を述べている。

《条件3》

相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続している。



【採点の基準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	「b」に加えて、自分の考えなどの詳細を話したり、様々な視点から質問したりしている。	「b」に加えて、自分の考えなどの詳細を話したり、様々な視点から質問したりしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	記事を読んで、①英文を引用するなどしながら、②AIの進歩等について考えたことや感じたことその理由などを話したり、③相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続させている。	記事を読んで、①英文を引用するなどしながら、②AIの進歩等について考えたことや感じたことその理由などを話したり、③相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続させようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【生徒のやり取り例】

Student A: What did you think about article? 《条件3》

Student B: I think AI is great. 《条件2》

Student A: Why do you think so? 《条件3》

Student B: Article write AI fridge. 《条件1》

No waste food if we can use it. 《条件2》

Student A: I think so, too.

Article writes AI makes our lives better. 《条件1》

Student B: ... My family using AI ... AI 掃除機.

We can get free time. 《条件2》

... You want? Well..., you, you...

(と言って相手の発言を求める手の動きをする)

Student A: Yes. I want AI... cleaner.

AI product is very useful because it helps us. 《条件2》

